

世界の災害・紛争地で緊急人道支援



① 国際医療ボランティアAMDA (岡山市)

看護師 岩本 智子さん

岡山県は2004年に全国の都道府県で初となる国際貢献条例を制定した国際貢献の「先進地」です。NGO（非政府組織）や経済団体、大学、行政などで行う岡山発国際貢献推進協議会（会長・伊原木隆太知事、会員・62団体）も06年に発足、さまざまな活動を行っています。各団体で活躍する人の取り組みや思いを紹介します。



困ったときはお互いお助け

国際医療ボランティアAMDA（アマダ、岡山市北区伊福町）は世界の国々で大きな災害や紛争が起こったとき、現地にいち早く駆けつけ、被災者らを支援します。けが人や体調不良の人たちの医療支援をはじめ、食料や必要な物の

配布、炊き出しもします。そのスタッフとして活躍しているのが看護師（米国籍）の岩本智子さん（33）＝倉敷市＝です。「現地の人々と触れ合い、『海外には行けないけれど困っている人を支援したい』という人たちの

思いを直接届ける仕事。やりがいを感じている」と話します。海外への派遣は年間4、5回。これまでにインドやフィリピン、パキスタンなど7カ国に赴きました。活動期間は1週間から、長いときは1カ月半も滞在します。

支援の内容は現地の状況やニーズによってさまざまです。医療支援では薬の配布、現地医師らが診察するときのサポートなどをします。2014年にボスニア・ヘルツェゴビナで洪水被害があったときは、病院まで来ることができない高齢者らのために自宅を回って健康状態を調べました。乾めんや缶詰といった食料、学用品など必要な物資の配布も大事な支援です。同年に洪水被害があったパキスタンでは、家が流された人たちに日陰を作るためのブルーシートも配りました。



台風被害があったフィリピンの島で被災者に食料を配る岩本さん＝2017年1月

岩本さんのあゆみ

倉敷市出身。地元高校を卒業後、渡米し、米国の大学などで英語や看護学を学びました。緊急支援や国際協力に興味を持ち、2012年からAMDA職員に。海外での活動のほか、昨年の熊本地震など国内での支援活動、緊急時の情報収集や支援に向けての調整などしています。

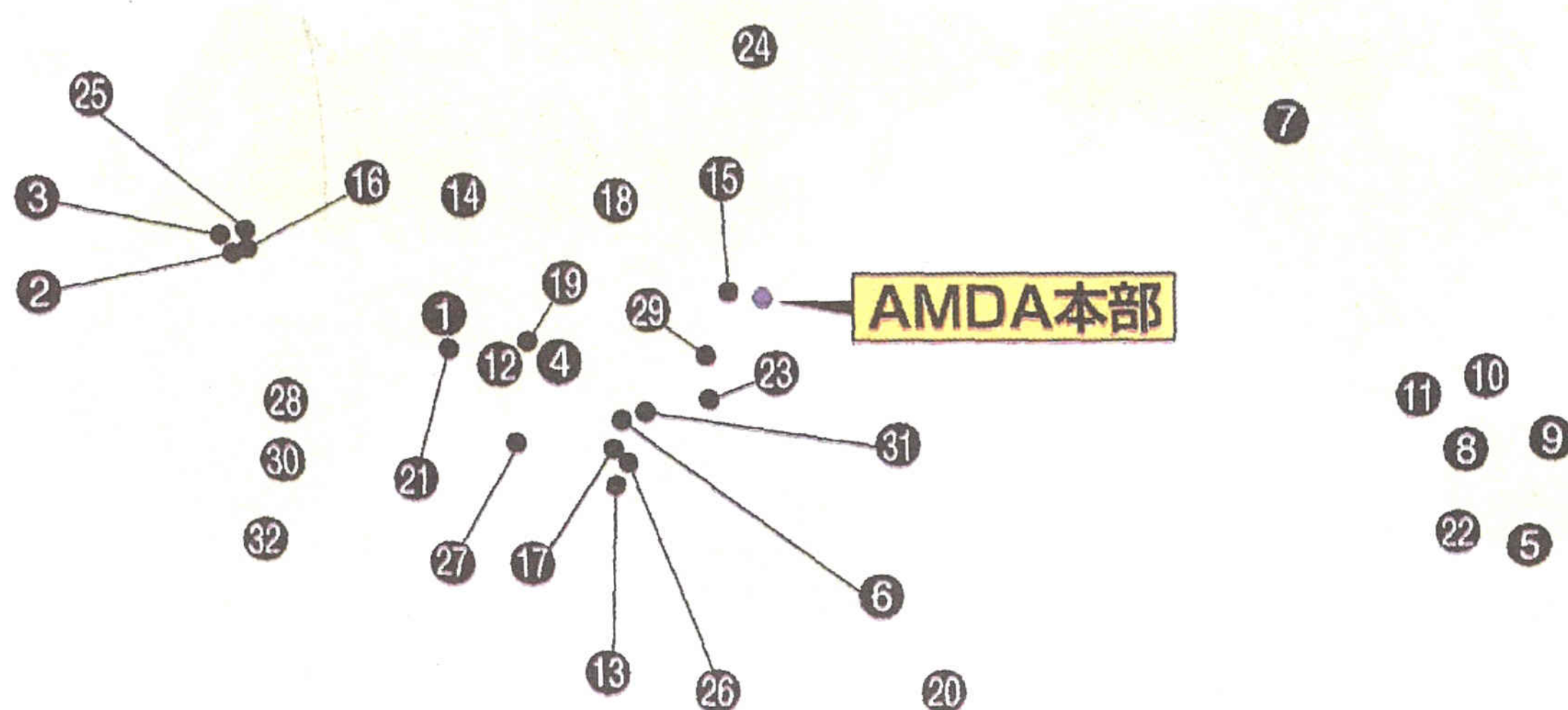


ボスニア・ヘルツェゴビナでは、洪水被害の被災者宅を回って健康状態を調べました＝2014年5月

「困ったときはお互いさま」という相互扶助の精神がAMDAの理念です。「現地では被災者が手を握って『私たちのために日本から来てくれるなんて。ありがとう』と言ってくれる。その言葉を聞くと、来てよかったと思う」（新田真浩）

AMDA(アマダ)

1984年に設立。これまでに65カ国・地域で緊急人道支援活動を行っています。AMDAグループとしていろいろな団体があり、菅波茂代表が統括しています。グループのうち海外での救援医療活動の中核を担うのはAMDAインターナショナルで、32カ国・地域の海外支部で構成されています。



支部

- | | |
|----------------|---------------|
| ① アフガニスタン | ①7 マレーシア |
| ② アルバニア | ①8 モンゴル |
| ③ ボスニア・ヘルツェゴビナ | ①9 ネパール |
| ④ バングラデシュ | ②0 ニュージーランド |
| ⑤ ボリビア | ②1 パキスタン |
| ⑥ カンボジア | ②2 ペルー |
| ⑦ カナダ | ②3 フィリピン |
| ⑧ コロンビア | ②4 サハ共和国(ロシア) |
| ⑨ ガイアナ | ②5 セルビア |
| ⑩ ハイチ | ②6 シンガポール |
| ⑪ ホンジュラス | ②7 スリランカ |
| ⑫ インド | ②8 スーダン |
| ⑬ インドネシア | ②9 台湾 |
| ⑭ カザフスタン | ③0 ウガンダ |
| ⑮ 韓国 | ③1 ベトナム |
| ⑯ コンボ | ③2 ザンビア |